

板橋区の 小中一貫教育

~学びのエリア教育~

板橋区では、教育の内容や指導方法、「学びのエリア」
の取組を義務教育9年間を通したものに充実発展させて
小中一貫教育を推進していきます。

令和2年度から小中一貫教育が始まります!

「学びのエリア」での「めざす子ども像」が決まりました!

板橋区の小中一貫教育では、全区立小中学校で9年間を通した教育課程に基づいた教育を行います。



小中一貫教育とは?

A 小中連携教育のうち、小・中学校の教員がめざす子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、体系的な教育を進める教育が、小中一貫教育です。

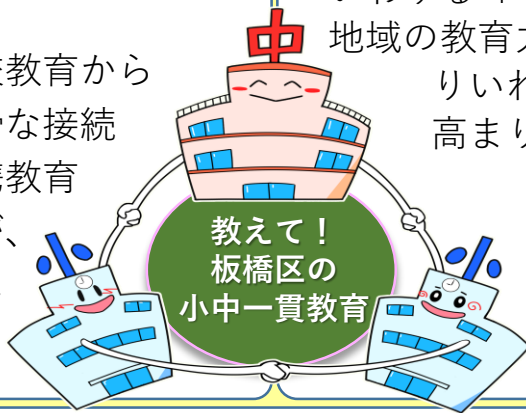
これまでも小学校教育から中学校教育への円滑な接続をめざす、小中連携教育を行ってきましたが、より発展させた形になっていきます。



なぜ小中一貫教育が求められるの?

A 義務教育における教育内容が質・量ともに充実してきたこと。子どもたちの発達の早期化。中学校へ進学する際、新しい環境への適応ができない、いわゆる「中一ギャップ」の解消。地域の教育力を積極的に学校にとり入れることへのニーズの高まり。

これらに対応していくために、小中一貫教育が求められています。



こちらのQRコードから板橋区の小中一貫教育ホームページにジャンプできます!
学びのエリアにおけるめざす子ども像、エリア一覧、バックナンバーはこちらからご確認ください。

発行 : 教育委員会事務局

問合せ先 : 小中一貫教育の推進に関すること
具体的な教育内容等に関すること

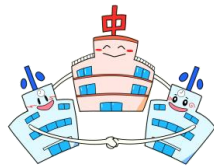
新しい学校づくり課 3579-2624
指導室 3579-2643
教育支援センター 3579-2194

裏面
Q & Aのつづき
と取組例紹介



学びのエリアとは？

A 学びのエリアとは、幼稚園・小学校・中学校の連携を強化するために、すべての区立幼稚園・小学校を区立中学校単位ごとに22のエリアに分けたものです。小中一貫教育を実現するための核として学びのエリアを位置づけ、今後の取組を推進していきます。



板橋区ではどのような形で小中一貫教育を行うの？

A 板橋区では、いままで進めてきた学びのエリアにおける小中連携教育をさらに発展させながら、「板橋のi（あい）カリキュラム」をはじめとした小中一貫教育カリキュラムを作成し、学びの連続性を意識していきます。学びのエリアにおける9年間を通しためざす子ども像と、それを実現するための基本方針を設定・共有し、小中一貫教育を行います。

取組事例の紹介

板橋三中エリア

板橋第三中学校ホームページより

○ 小中一貫・板三エリアでは、年間4回の合同研修会を開きます。小学校の先生による中学校の授業参観、小学校との連携授業、年間の振り返りを行います。第1回合同研修会では、小学校の先生による中学校の授業参観の後、教科別の分科会を開き、小中の先生方による連携授業について話し合いました。



○ 「あいさつ運動」

7月12日（金）エリア小中連携・挨拶運動



一昨日から本日にかけて、エリア小学校で「挨拶運動」を行いました。

生活委員会の皆さんが「小中一貫・板三エリア」の小学校（板一小・板八小・中橋南小）を訪れ、朝登校してくる小学生たちに挨拶をしました。また、小学生の皆さんも、一緒に挨拶運動に参加してくれました。

写真は、今朝の板一小での様子です。最終日の本日はあいにくの雨となつてしまいましたが、中学生が「おはようございます」と声をかけると、それに負けないくらい元気な声であいさつを返してくれました。

この活動の目的は、児童と生徒の交流を図るとともに、双方に挨拶の大切さを再認識してもらうことにあります。3日間の活動を通し、その目的は十分に達成できたように思いました。

校長 武田幸雄

○ 「小学校まとめテスト」を実施

中学校教員が問題を作成し、小学校校長が問題をチェック。「読み解く力」を必要とした設問を入れています。

このテストを行うことにより、中学校に進学して来る生徒の課題を把握し、個々に対応した授業計画に反映できます。

また、6月に実施しているRST（リーディングスキルテスト）の結果を小中学校で共有し、小中学校でどれだけ伸びたか検証できる取組を開始する予定です。



部活動体験もやっています